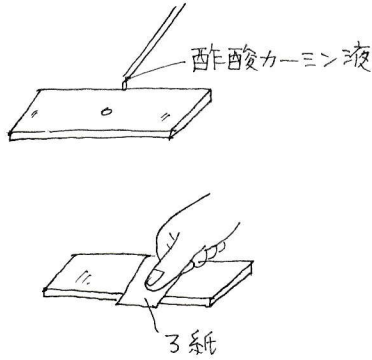
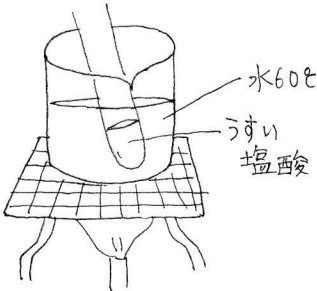


実験 1~2 cm にのびたタマネギの根の先端部分を切り取り、60℃のうすい塩酸に2~3分浸した。それをスライドガラスにのせ、酢酸カーミン液を1滴たらし。カバーガラスをかけた。次に、その上にもろ紙をのせて押しつぶし、その時に出る水分をろ紙で吸い取った。



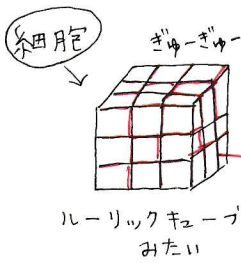
超重要な実験!!
絶対テストに出る。

Q なぜそんなことをするのかな?

- なぜ塩酸に浸したの?
- なぜろ紙で押しつぶしたの?
- なぜ酢酸カーミン液をかけたの?

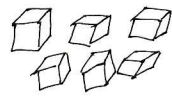
① 塩酸を浸す理由

(細胞をばらばらにするため)



細胞と細胞の間はばらばらにたらないようにくっついている。

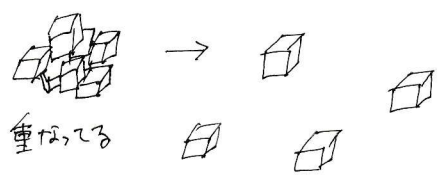
接着剤を取って、バラバラにしたいと観察できない。



塩酸に浸したら接着剤が取れてバラバラになるんだ。

② ろ紙で押しつぶす理由

(細胞の重なりをなくするため)



接着剤は取れたけど、またかたまりとして存在しているため、バラしてやりたい。

ぎゅっと上から押しつぶしてバラし、平らにします。

